

【高等学校用】

令和6年度学校評価 結果・学校関係者評価

学校名	佐賀県立唐津工業高等学校			C : やや不十分である D : 不十分である
1 前年度 評価結果の概要	・コロナ禍が終わり、以前の学校生活に戻っているが、生徒の多様化や自然災害時に対応するため、職員のオンライン授業の技術が必要となる。定期的に研修会を計画することで、技術の継承に努めていきたい。 ・生徒指導面では生徒のモラルの低下が懸念され、HR活動やヒューマントレーニングを通して、道徳心の育成とマナー向上に繋がるように工夫をしながら実践を継続していきたい。 ・数学会や小テストは生徒の基礎学力の向上に必要であり、生徒の進路目標に関わるため、これからも継続して取り組んでいきたい。 ・校内美化や地域での奉仕活動を通して、ボランティア精神を学ぶとともに、安全安心な学習環境を整備する活動を継続していきたい。 ・ものづくりを通して地域に貢献するとともに、職業人としての倫理観を養い、社会人に必要とされる技術の習得を目指す。			
2 SAGAスクール・ミッション 学校教育目標	○唐津の地域に根ざし、これからの時代に必要とされる工業教育の実践に取り組み、工業界や地域社会の発展に貢献できる、広い視野を持った人材を育成する。			
3 スクール・ポリシー	アドミッション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	グラデュエーション・ポリシー	4 本年度の重点目標
	1 「ものづくりによる人づくり」「部活動による人づくり」の経営ビジョンを掲げ、ものづくりに関心があり、生徒会活動や部活動において実績があり、リーダーシップを発揮できる生徒。 2 向上心があり、ルールやマナーを守る規範意識を身につけ、また、思いやりの心を持ち、仲間と協力して高校生活を過ごせる生徒。	1 ものづくりマイスターによる指導など実践的な技術教育に取り組む。 2 進路実現のための資格取得を推奨し、ジュニアマイスターの育成に取り組む。 3 規範意識の向上を目指し、全校生徒による地域貢献やボランティア活動を実施する。	1 地域に根ざし必要とされる学校。学習により身につけた技術・技能を地域に還元することで成果を確認し自信につなげる。 2 佐賀に誇りを持ち、地域の課題解決に取り組む、産業や伝統芸能を支え、地域に貢献する人材を育成する。 3 規範意識や社会性を身につけ、職業人として必要な資質や態度を育成する。	① 全ての生徒が安心して学習ができ安全に生活できる学校 ② 地域に根ざし保護者や地域との協力連携を深め信頼される学校 ③ 生徒は真剣な態度で授業を受け教師は分かる授業を実践する学校 ④ 生徒に夢を持たせ夢を育み夢の実現に向けて歩ませ全力でサポートする学校 ⑤ 必要な常識・規範意識・道徳心・基礎的な知識・技術を身につけさせる学校

重点取組内容・成果指標			中間評価		最終評価				主な担当者	
(1)重点評価項目										
重点取組			中間評価		最終評価		学校関係者評価			
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○基礎学力の定着と夢の実現 (志を高める教育)	◎生徒に確かな基礎学力を身に付けさせ、進路実現100%を達成する。	・基礎学力の向上のために行っている「数学力」(学び直しの時間)や各種小テスト(基礎学力の定着)を定期的に実施し、長期休業中の課題と授業明けの課題テストの実施で学びを継続する。 ・生徒の「学びをとめぬい」のために、リモート授業の活用に取り組む。 ・生徒一人ひとりが自らの将来について考え、希望する進路が実現できるよう、生徒・保護者の進路希望を踏まえつつ個々に応じた学習指導や進路相談、適切な情報提供とする。	B	・「数学力」は計画通り1学期末までの実施した。各種小テストも計画通り進み、2学期末までの実施予定。休業中の課題や課題テストの実施による学びへの意識は継続できている。 ・後援会等理論的・体系的な授業は展開できておらず、対面授業による学びを展開できた。 ・生徒一人ひとりの進路希望に応じた指導EITを活用した情報提供ができている。就職希望者の一次試験内定率97.7%、未内定者については12月中旬までの内容を目標に継続指導をしている。進学希望者の合格率は12月以降判明する。	B	・「数学力」(1学期)、各種小テスト(1・2学期)、夏・冬季休業明けの課題テストの実施により、学びの意識が継続できた。また、基礎学力の定着が見られ、授業における理解度の向上にも貢献できた。 ・生徒一人ひとりの希望する進路が実現できるような個々に応じた学習指導ができてきた。適切な情報提供ができた。就職内定率100%、進学合格者96.3%となった。その他は1名である。	B	・卒業後の進路のためにも工夫されていると思います。生徒の状況に合った取り組みを今後もお願いします。 ・これからも生徒の希望する進路に進めるよう指導をお願いします。 ・基礎学力がないと社会に出て困るんだという関心や進路指導がでない。卒業生全員が進路が決まっている事は、大変喜ばしい事です。	教務主任 進路指導主事
	●思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心、工業高校生としての自覚など、豊かな心を身に付ける教育活動	◎地元唐津における唯一の工業高校生としての自覚を持つことを目指す。 ◎自分の学校に誇りを持っている生徒の割合75%以上を目指す。 ◎ものづくりによる「地域連携・地域貢献活動」を通して、ものづくりの魅力を理解し安全面に配慮できる、豊かな心を身に付けることを目指す。	・身に付けた技術・技能を地域に還元するとともに、体験入学や学校説明会、ハイクールウェビナーなどを通じて工業高校生の特長を情報発信する。 ・「地域連携・地域貢献」活動に積極的に参加し自己肯定感や他者に対する思いやりや心、社会性、倫理観や正義感、感動する心などを醸成する。	B	・ハイクールウェビナスタとして学校紹介と各科目に関する作品展示と体験コーナーを展開し、多くの来場者で賑わい、本校の教育活動をPRするよい機会となった。 ・「学校説明会」は、1学期9校実施し、2学期9校の実施予定であり、継続的に本校の情報発信ができています。また、「高校進学説明会」では、例年より多くの中学生・保護者への有意義な個別説明会になった。	A	・学校紹介や各科紹介を通して、生徒作品展示や体験コーナーを実施した。多くの来場者と触れ合う機会ができた。もののづくりに関心があり、他者に対する思いやりなどの醸成できた。 ・「学校説明会」は年間通して、唐津市・玄海町内の中学校18校で実施した。現在、学校PR動画の制作が進んでおり、次年度は新しい情報を通して、本校の魅力発信したい。	B	・生徒の活躍の場を増やされており、よい取り組みをされていると感じます。 ・地域との連携、情報発信をより多く行い、学校の良の興味、理解を深めてもらえるようお願いいたします。 ・地域貢献されている事もニュースで見たりしています。素晴らしい事だと思います。引き続きお願いいたします。	教務主任 特活指導主任 工務部代表 図書主任
●心の教育	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取り組みの充実	◎いじめ問題の早期発見のためのアンケートを年間2回実施する。 ◎いじめ問題が発生しないための環境づくりと啓発に取り組む。 ◎いじめを発見した際は、各部室と連携を図りながら組織的かつ迅速に対応する。 ◎規範意識や道徳心の向上のため、本校独自の取り組みであるヒューマントレーニング(年間13回行い、公共モラルやSNSの問題等に真摯に向き合い、自ら考える行動ができるようになる)。	・いじめアンケート実施後、1週間以内に担任や副担任を中心に全生徒への面談を行い、生徒の変化を確認しながらフォローアップを行う。 ・複数担任によるホームルームや各学年団による昼休みの校内巡視、登下校時の校外指導を毎週2回行う。 ・いじめ・暴力行為の防止と早期発見及び迅速な対応を組織的に行い、すべての生徒が安心して学校生活が送れるようにする。 ・「地域連携・貢献」活動に積極的に参加し他者に対する思いやりや心社会性、倫理観や正義感、感動する心などを醸成させる。	B	・「学校生活アンケート」を実施し、いじめの早期発見に繋がることができた。また、アンケートの面談を通して生徒の学校生活のサポートにあたることになった。 ・SOSの出し方教育講演会を実施し、生徒たちが自身の命や心を大切にするようになった。 ・ヒューマントレーニングは計画通り、年間13回を計画的に実施中である。道徳的問題を含んだ様々なテーマについて、生徒たちが多角的に考え、自己を見つめ直す良い機会となっている。	A	・「学校生活アンケート」を実施し、いじめの早期発見によるホームルームや各学年団による昼休みの校内巡視、学校生活アンケートの実施とアンケート後の面談を通じて、いじめ・暴力行為の防止と早期発見に努めた。また各問題に対して迅速な対応ができた。 ・ヒューマントレーニングを通して、公共モラルやSNSの問題等に対して、自分の向き合い方を話し、表現することができた。	B	・問題行動やいじめ対応は大変だと思いますが、生徒が安心安全に学校生活が送れるよう取り組まれている点から感謝いたします。 ・SNS内でのトラブルなど表面化しづらい事実もあるため、引き続き心の教育、ケアをお願いいたします。	教育相談 生徒指導主事
	○ふるとさ佐賀への教育活動	◎アンケート「佐賀県に誇りと愛着を感じる」という観点からアンケートに回答した生徒65%以上を目指す。 ◎協賛の人材を活用した講演会等、年間1回以上を取り組む。	・「朝の読書」を利用し、隔週水曜日に「佐賀語」を読む日を設ける。 ・本校卒業生の会社経営者、地元唐津に密着させた文化人などの人材を活用した講演会を実施する。	B	・1学期は「朝読書」の定着に意図された。10月下旬から11月初旬の2週間は、「佐賀語」を活用した授業や学習会を開催した。 ・11月上旬には「80周年記念式典」での講演会を通して、母校と地元唐津に誇りをもち、ふるとさ佐賀県への思いや愛着を感じさせる。	B	・「佐賀語」を活用した授業や学習会では、佐賀・佐賀市の歴史や文化を再発見できた。 ・10周年記念式典や職員会議を通して、母校と地元唐津への愛着と誇りを再確認することができた。 ・アンケートでは、「佐賀県に誇りと愛着を感じる」と回答した生徒は90%以上であった。	B	・心の教育にしているのは、今後大切に取り組んでいただきたいと思います。 ・地域の事を考えるという意味で期日投票所の設置。 ・ふるとさは持っているだけでなく、引き継ぎをお願いします。地域の特性を活かした学習はないものでしょうか。	教務主任 各学年主任
●健康・体づくり	○望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成 ◎自らの健康に気を付け、問題を改善しようとする態度や実践力の育成	◎「健康に良い食生活をしている」生徒80%以上 ◎朝食をとって食事をする生徒80%以上 ◎健康診断後の受診率の向上を図る。(受診率30%以上を目指す) ◎学校感染症による出席停止率を20%以下に改善 ◎スマートフォンが心身に与える影響を理解させる。	・食に関する意識調査、健康状況調査を実施し、健康に関する意識付けを行うところである。 ・保健だよりや掲示物等を活用し、健康に関する情報に触れる機会を設け、身の健康を保持増進するための役割を委ねる。 ・担任・部活動の顧問と連携し、異常があればすぐに回復するための行動が取れるようにする。 ・ゲーム依存、ネット依存に関する指導を、年3回以上実施する。	B	・生活習慣アンケートは予定通り実施し、健康に関する意識付けを行っているところである。 ・保健だよりを定期的に発行し、健康や感染症について見直す機会を設けている。 ・学校感染症については、教室の対角線の窓を開けるなど対策を行いつながら拡大しないように努めている。 ・ゲーム依存、ネット依存に関する指導は3回行った。	B	・生活習慣アンケートを実施し朝食をとって食べている生徒が約8割という結果が出た。また、文化祭でのステージ発表では、近年増加傾向にある自然災害への対応をテーマとし、防災教育の一環とした。 ・感染症については、教室の換気や咳エチケット等の対策を行い、インフルやコロナ等の感染が拡大することなく経過した。 ・ゲーム・ネット依存については、総合時や保健だより、LHRの時間を利用して、その弊害や危険性を伝えること等について指導を行うことができた。	B	・ゲームやネット依存は中学生にも大きな課題であるので、中学でも取り組んでいる。 ・心身の成長、心のケアにしっかりと尽力をお願いします。 ・食育とエネルギー、そこからの働きかけを説明し、朝食の役割を教えることはどうでしょうか。 ・ゲームやネット依存の指導と併せて、SNSの指導も必要だと思います。	保健衛生主事
	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	◎教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤推進日(毎月曜日)と完全出勤日(月1回)を設定し、業務量の平準化と業務効率化の推進(会議時間の短縮、資料の事前配付・ペーパーレス化等)を図る。	B	・業務改善や教職員の働き改革を推進するため、いじめ・体罰等調査や職員会議等のペーパーレス化を図った。 ・会議の議題を精査して、協議と連絡に分け、時間短縮を図っている。また、資料開示のみのケースもあった。	B	・職員会議等において、資料を事前にメンバー機能で配付することでペーパーレス化と会議時間の短縮を図ったが、効率よくスムーズにいった。 ・行事によっては一部の職員が業務過多となり、業務量の平準化はできず、次年度に向けての課題とした。	B	・今後も工夫してあったて、先生方の働き改革をつなげてください。 ・スクールカウンセラーの活用等職員の心のケアへの配慮をお願いします。 ・生徒との関わりもあり、職員間の情報共有も必要だと、時間的に大変だと思います。	管理職
●特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する教員の専門性と意識の向上	◎特別支援教育に関する専門性が向上したと回答した教員80%以上	・特別支援教育に関する研修会の実施 ・ケース会議の開催、関係者間での情報共有	B	・「発達障害児の理解と具体的な支援に関する研修会」は11月に実施予定。 ・ケース会議を開き、組織的に生徒の支援にあたった。	B	・「発達障害児の理解と具体的な支援に関する研修会」を1月に実施し、職員の知識と生徒理解の向上を図った。 ・ケース会議を開き、組織的に生徒の支援にあたった。	B	・引き続き支援をよろしくお願いいたします。 ・特性に応じた指導をお願いします。	教育相談主任
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目										
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○特別活動	○部活動による人づくり	◎部活動入部率90%を目指す ◎練習環境を整え、部室等の公施設の利用を通じ、マナーモラルの向上を身につける。	・部活動を活性化させるため、1年生の全員入部を促進し部活動による人づくりを図る。また、顧問のできる限りの指導を要する。 ・定期的な部室の掃除を促している。今後は1学期末ごとに、部室点検を行い、部室の整理整頓を徹底に行う。	C	・全校での入部率72.8%とかなり低い割合となっている。各部活動の活性化と退部者をなるべく出さない充実した運営が必要である。 ・定期的に部室の掃除を促している。今後は1学期末の整理整頓についても推奨していきたい。	A	・年々部活動入部者の減少が目立ってきているが、全員部活動をご時世強制できない。部活動の活性化のために、顧問の充実をもっと努力する部活動を作っていくこととしたい。 ・部室の清掃活動については、部顧問の責任ある部分と積極的に行なってほしい。 ・ボランティア活動が一部あるといいと思います。	B	・部活動の意義を知ってもらうだけではなく、部活動の重要性を止める大会の中止等の流れで難しいと思うが、積極的な働きかけをお願いします。 ・部活動の活性化が部活動につながります。	特活指導主任
	○地域連携活動	◎地域活動への協力・協働・参加 ★ものづくりによる「地域連携・地域貢献活動」を通して人づくり ◎相互間の信頼関係の構築 ★本校の特色や魅力が中学生や保護者にハイクールウェビナー	◎唐津地区のイベント等に可能な限り、参加・協力する。「地域連携・地域貢献活動」★各校の特色を生かす ★自分たちの学校を中学校に勧めることができる生徒の割合75%以上。教職員の割合75%以上とする。	・各科の科展を生かし地域連携・地域貢献活動を行う。地域の資源を活用し、地域活動の場、確認する場と、生徒たちの達成感と自己肯定感を高めるとともに、工業教育の魅力を地域に知ってもらう機会となる。 ・秋・冬・春・夏・秋・冬のハイクールウェビナー、高校進学説明会、体験入学などいろいろな機会を通してPRする。	B	・11月に地域のイベントに3校が参加予定で、学校紹介やものづくり体験を行い、地域活動の協力と協働が出来ることにも地域に本校を知ってもらう契機となった。 ・地域からのものづくり依頼に積極的に関わり難題することを通して、生徒たちの達成感や自己肯定感を高めるとともに、工業教育の魅力を地域に知ってもらう機会となった。 ・秋・冬・春・夏・秋・冬のハイクールウェビナー、高校進学説明会、体験入学などいろいろな機会を通してPRする。	A	・地域のイベントに積極的に参加し、学校紹介やものづくり体験を行い、地域活動の協力と協働が出来たとともに地域に本校を知ってもらう契機となった。 ・地域からのものづくり依頼が3件あった。 ・77%、教職員の割合が33.6%である生徒の割合77%、進学合格者96.3%であった。	A	・イベント参加や中学校への様々な作成など、本当にふやけたいと思っています。 ・各々の特性を活かした地域交流、貢献をお願いします。 ・スクールPT等でも生徒の活躍場を見ます。学校のPRと社会貢献にもなると思いますので、続けてください。

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ★…唯一無二の誇り高い学校づくり	
6 総合評価・次年度への展望	・生徒の多様化や自然環境の変化、災害等へ対応するため、ICT機器を積極的に活用し、オンラインによる集会や講演会・授業等がスムーズに実施できた。次年度も定期的に研修会を計画し、技術の向上に努めていきたい。 ・数学会や各種小テストによる基礎学力向上への取り組みは、生徒の進路目標に関わるため、これからも継続して取り組んでいきたい。 ・生徒指導面では生徒のモラルの低下が懸念されており、各科と各学年の連携を密にしながら、全職員で組織的に指導に当たった。本校独自の取り組みである「ヒューマントレーニング」の教育的効果は、道徳心の育成やマナーの醸成に繋がっており、さらなる向上を目指し実践し続けた。 ・校内の環境美化を徹底し、整理整頓を心掛けることで落ち着いた学習環境をつくり出していきたい。 ・ものづくりによる「地域連携・地域貢献活動」を積極的に行った。これからのものづくりを通して地域に貢献するとともに、職業人としての倫理観を養い、社会人に必要とされる技術の習得を目指す。